

Aikou

2024年 5月園だより

愛香南部幼稚園

〒921-8035

金沢市泉が丘 1-16-8

Tel 241-3860

「言葉を大切に」

チャプレン 山田 和人

言葉はその人の心、気持ちを伝えます。自分の言った言葉を本人は忘れていても、その言葉を聞かされた人の中ではいつまでも響いていることがあります。だから、どんな言葉を発するかは大事なことなのです。

先日、受診をしたときに血液検査をしました。私は血管が細く、なかなか浮き出て来ないので、上手にやってもらえるかいつもびくびくしています。ところが、針を刺した看護師さん、「チクッとしますよ」と言ったものの、少しの痛みも感じないくらいとても上手でした。技術が未熟な人ではこうはいきません。そればかりでなく、私が「とてもお上手ですね」と言うと、「いえいえ、“いつもここから針を刺しています”と場所を教えてくださいましたからですよ」との返答に感心しました。

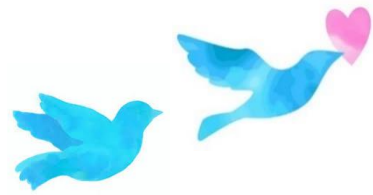
「やわらかな受け答えは憤りを鎮め、傷つける言葉は怒りをあおる」という言葉が聖書にはあります。(旧約聖書箴言 15 章 1 節) わたしは怒っていたのではなくて、不安な気持ちだったのですが、看護師さんの熟練したスキルは痛みを感じさせず、やわらかな応答はさらに私の気持ちを楽にしてくれました。幼稚園で遊んでいるお友だちの素敵な笑顔は、私の細い目をさらに細く、にこやかな表情に変えてくれます。

「大ピンチずかん」

園長 富樫 立子

今人気の絵本の一つに「大ピンチ図鑑」があります。幼稚園にも2冊ありゆり組でも大人気です。日常での困った出来事を「大ピンチ」と称してその度数を数字で表しています。例えば、「ご飯粒をふんだ」大ピンチレベル23 さらに靴下をはいてふんだら大ピンチレベルが31に上がる。いろいろな大ピンチが共感できるように、「ぼくだったら、レベル50や」など自分にあてはめて考えて友だちとのレベルの違いを不思議に感じたりしていました。そんなある日、Y君が思うようにいかず苛立った様子を見て、「今日大ピンチだったね」とKくんが声をかけると怒っていたYくんが笑顔になって「今日はレベル120だね」と答えていました。「それは大変だったね」と気持ちを寄せた答えを返したことで、Yくんの大ピンチは飛んでいった様子でした。

よく「ピンチをチャンスにかえて」という話を聞きますが、子どもたちにとってそれはまだまだ難しいこと。「ピンチをピンチととらえないこと」として、今はピンチを笑いに変えてこの大ピンチずかんで学んでいる最中のようなのです。大人の私たちもできていそうで、できていないのかも？



クラススケッチ



はいチーズ☆

すみれ

入園して、まだひと月も経ちませんが、すみれ組のかわいい2名のお友達は、毎日元気いっぱい刺激的に楽しく過ごしています。初めてがいっぱいで、あれもこれもやりたいと目移りしながら、好きな遊びを見つけて遊んでいます。2人共、特に園庭で遊ぶのが大好きです。室内での遊びに満足したら、「そろそろ外に行きたいよ～」とばかりに玄関のドアの所に行って外を眺め出します。

初めて園庭に出た時にR君は砂場の土の感触・風のそよぎ・木が揺れる音を五感で楽しんで可愛かったです。K君は水が大好き♪雨上がり後の水たまりを見つけたら一目散に走り出し、足をバシャバシャ!!水しぶぎと水が跳ねる心地いい音と、気持ち良さをいっぱい感じキラキラした顔で楽しんでいました。粘土にクレヨンのお絵描き、絵の具遊びもデビューして、たんぼぼさんと一緒に大きな鯉のぼりも作りも楽しんでいました♡

宮崎 詩世

ゆい

今年は桜の開花がゆっくりだったため、陸上競技場のお花見開放に3日続けていくことが出来ました。普段通り過ぎている陸上競技場に入るとあって、子どもたちも大喜び。「また、明日違う公園に行って桜を見てこようね」と話すと、「あしたもいくじょうきょうぎじょうでいいよ～」との声。子どもたちは桜を見るよりも、芝生を転がって遊ぶほうが気に入ったようです。桜は??と置いていたら…先日のたけのこほりて北陸学院第一幼稚園にお邪魔して八重桜を見た子どもたちは、「はなびら、おおいね」「はなのいろもちがうよ」としっかりと違いを分かっていたようです。見ていないようで、しっかりと見ていたんだな～と感ずることが出来ました。子どもたちなりの感性っておもしろいですね。そんな子どもたちと一緒にこれからもいろいろな場所に出掛け、楽しんでいきたいと思ひます。少しずつ疲れを感じやすくなっていますので焦らずゆっくりと過ごしていきましょう。

氣谷 彩子



絵の具あそび



砂場遊び



かんぱーい!

たんぼぼ

3人でスタートしたたんぼぼ組の子どもたち。最初は遠慮がちに「ねえねえ」と声をかけたり、姿が見えないと「あれ?あの子どこいったの?」というところから「Kちゃんあーそーぼっ♪」「Mくんおはよう♡」などお互いに名前を呼び合える関係になってきました。

ゆい組さんと一緒にお散歩や礼拝を守ったり、たんぼぼ組だけで体操教室も始まりました。体をいっぱい動かすとお腹はペコペコ!週2回のお母さんお弁当は特に楽しみにして、毎回「おいしいね♡」と言い合っ食べしている姿が微笑ましいです。

少しずつですがお祈りや讃美歌も毎日のプログラムに取り入れています。先日はおやつの前にすみれ組さんと一緒に「かみさまにかんしゃ」の讃美歌を歌うことができました。お祈りはすっかり慣れて、おやつ前・食事の前に小さな手をぎゅっと組んで声を揃えて祈っています。慣れないことの連続ですが、1つ1つ興味を持って取り組んでいる子どもたちの姿がステキだと思ひます。

北村 愛実

あそびのなかから…

新学期が始まり、ゆい組さんとお散歩に行ったときの事です。歩いていると風が吹いて桜の花びらのシャワーが降ってきました。見上げながら「うわぁ～、きれいだね～」と子どもたち。陸上競技場をのぞいてみるとお花見できるとのことでお花見を楽しむことができました。

ちょうどいいお天気で、桜の花は満開!子どもたちは急いで花びらを集めたり、落ちていどんぐりを拾ったり、芝生の上を走ったり、転がったり…と楽しくて楽しくて時間を忘れるくらい思いっきり体を動かしてきました。

桜の木の幹が落ちていると「これは化石だよ!いいものみーっけ!」と宝物にしているお友だちもいましたよ。とてもすてきな時間を過ごしてきました。

櫻井 真澄